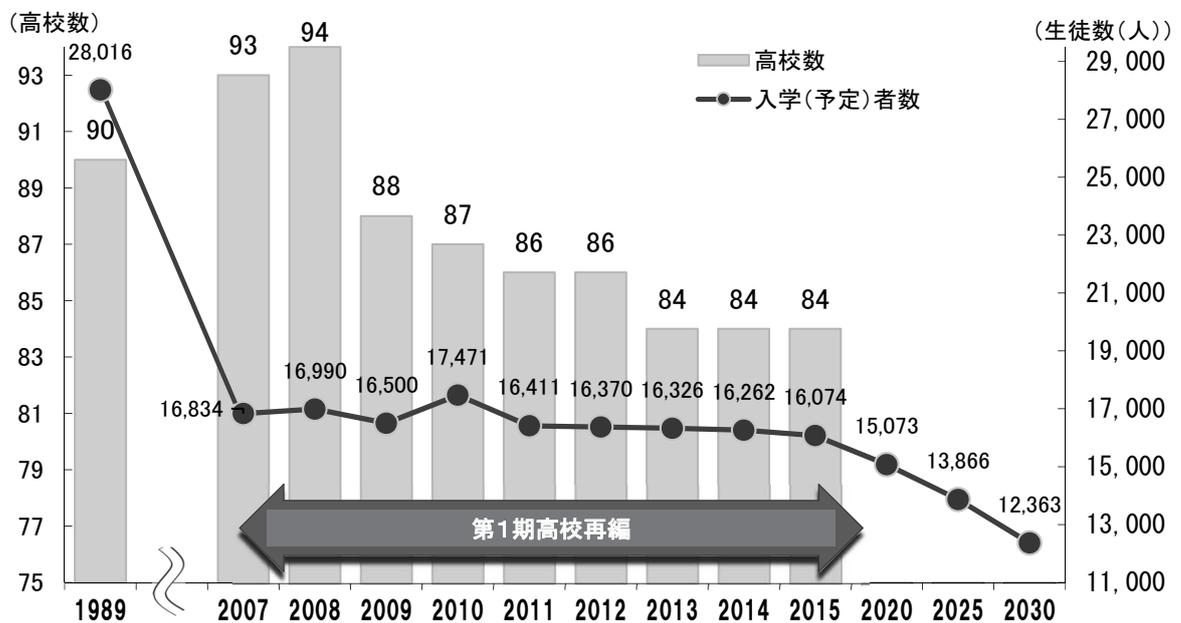


(2) 高校教育の充実

現状と課題

- 社会の変化が大きいこれからの時代には、正解が見つけにくい課題等に対し、皆で協働して解を得ていくような力や、自らが主体的に社会に参画して未来を創り出そうとする力等、「新たな社会を創造する力」を育む高校づくりが、より重要になってきています。
- 生徒の「新たな社会を創造する力」を育む「探究的な学び」の手法を取り入れた教員の実践的指導力が求められています。
- 授業改善等の取組により、授業に臨む意欲と意識が高まっていますが、高大接続改革に向けた思考力・判断力・表現力のさらなる育成を目指した効果的な取組が必要になっています。
- 専門高校における専門性の深化のための取組により、全国大会レベルの知識・技能が身に付いてきているとともに、生徒の学ぶ意欲も高まっています。
- 20年、30年後を見据え、新たな学びに柔軟に対応し、効果的で快適な学習環境となるよう、学校施設・教育施設の改善が求められています。
- 県内高等学校（全日制）生徒のうち、約2割が私立高等学校に在籍しており、それぞれの学校が建学の精神に基づく教育活動を展開することで、本県の高校教育の発展に貢献しています。

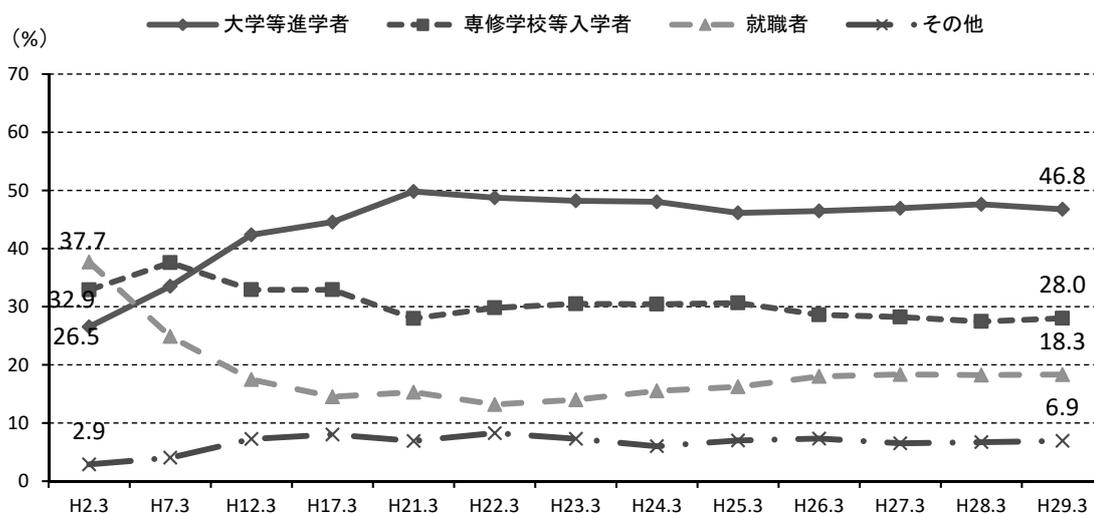
図1-(2)-① 公立高等学校数と入学（予定）者数（全日制及び多部制）の推移



※ 2020年は「2017年度学校基本調査」による数、2025年以降は「毎月人口異動調査(長野県企画振興部)」の2017(H29)年4月1日現在のデータに基づいて算出

高校教育課調べ

図1-(2)-② 高等学校卒業後の進路の状況（全定通：国公立私立計）



文部科学省「学校基本調査」

目指す成果

- ◆ 「高校改革 ～夢に挑戦する学び～ 実施方針」に則り、地域ごとに個別の再編・整備計画を策定します。
- ◆ 県立高等学校における個性豊かな魅力ある学校づくりを行います。
- ◆ これからの時代を生き抜く力、次代を切り拓く力の育成に向けた授業改善を行います。

主な施策の展開

高校教育を充実するために、次のような取組を進めます。

① 高校改革の推進と魅力ある高校づくり

- 旧通学区ごとの再編の基本理念・方針を盛り込んだ「高校改革 ～夢に挑戦する学び～ 実施方針」に則り、具体的な検討を進め、地域ごとの再編・整備計画の策定に取り組みます。また、先導的に改革に取り組むモデル校を指定します。
- 県立高等学校において時代と生徒のニーズに合った教育課程の弾力化を推進し、個性豊かな魅力ある高校づくりを推進します。
- 県立高等学校において、高校改革などに伴う施設整備や老朽校舎の改築・改修などを進めるとともに、新たな学びに対応できる学校施設のあり方を検討します。

② 授業改善の推進

- 新学習指導要領や高大接続改革への的確な対応など、これからの時代を生き抜く力、次代を切り拓く力の育成に向けた授業改善を推進します。
- 「高校生のための学びの基礎診断」として認定が見込まれる民間の測定ツールにより、基礎

学力の確実な定着と「伸びる力」を一層伸ばすための指導内容の工夫や、授業における観点別評価を進めます。

- 生徒の知識・技能を活用する力や思考力、判断力、表現力等を向上するため、学校での様々な学習活動において、「探究的な学び」の手法を取り入れた取組を推進します。
- 県立学校におけるICT利用環境を充実し、一人ひとりの児童生徒に応じた指導や授業の改善を進めます。
- 中学校と高等学校間の教育課程・方法上の接続を考慮した研修などにより、生徒の基礎的な学力の保障や学ぶ意欲の向上などに取り組みます。
- 外部の人材を活用し、学びに対する動機付けを行う合同合宿や進学対策講座などを計画的に実施します。

③ 私立高等学校の振興

- 私立高等学校がその自主性にに基づき特色ある教育の展開ができるよう、私立高等学校の運営に要する経費について、私立学校教育振興費補助金により助成を行います。



遠隔教育システムを利用した合同授業



マンツーマンの進路指導

成果指標

「高校教育の充実」に関する成果指標及び参考指標については、現在検討を進めている高校改革と連動し、生徒にどのような力をつけて高校を卒業させるか（生徒育成方針）を示すため、生徒の学力の実態等を的確に把握し、学力向上に活かすための新たな指標を、今後、外部有識者とともに検討する予定です。

新たな指標策定後は、本計画の指標として位置付けてまいります。

特色ある取組

RESAS を活用した探究学習（ICT の活用）

長野県の県立高校では、RESAS（リーサス：地域経済分析システム）を活用した探究学習に取り組み、高校生の地方創生の意識向上につながる新しい学びを推進しています。

近年、情報化が急速に進む中、学校教育においても課題発見・解決にITを活用できる情報活用能力の育成が求められています。

県立高校のRESASを活用した探究学習では、高校生の地方創生の意識の向上を図るとともに、ICTや統計的データを活用して、他者と協働しながら新しい価値を生み出すための思考・判断・表現力といった来たるべき時代に求められる資質・能力を育むことを目指しています。

Web 会議システムを活用した探究学習発表会 （県立飯田高校）

RESASで視覚化したデータをもとに、下伊那地域の特徴をつかみ考察することで、「地域に対して自分たちに何ができるか。」を提案しました。併せて、発表会には近隣の中学生が参加したほか、遠隔通信システムを利用して遠方の中学生も参加し、学校種を越えて地域の課題に対して意見交流を行いました。

